

ホフマン通信

—「国重要文化財☆日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設」保存修理情報— 第9号

◎外周鉄骨の組み立て

主たる耐震補強のため、輪窯外周にリン酸処理を施した鉄骨を組み立てました。この補強材は窯壁鉄骨に連結し耐震性を発揮します。2列の補強材の間はちょうど回廊状になるため、活用のための見学通路にする予定です。



鉄骨補強材の組み立て

◎煙突部鉄骨補強の組み立て

高さ約40mを測る煙突については、倒壊を避けるため、特に頑強な鉄骨補強を施しました。補強の高さは、当初の木造覆屋とほぼ同じ高さになるため、鉄骨補強の被覆の際には、規模をイメージできるよう木で外壁を作り、小窓を設けるなどしています。



煙突部鉄骨補強の組み立て



煙突部鉄骨補強の組み立て



鉄骨補強と煙突の連結



煙突部鉄骨補強空間の内部

◎保存修理工事の竣工

ホフマン輪窯という貴重な文化財を適切に保存活用し、後世に伝えていくために、平成31年2

月から行ってきた保存修理工事は、令和7年5月をもって竣工しました。引き続き、旧事務所等の保存修理を行っていきます。



保存修理工事竣工写真

◎ホフマン輪窯の公開活用に向けて

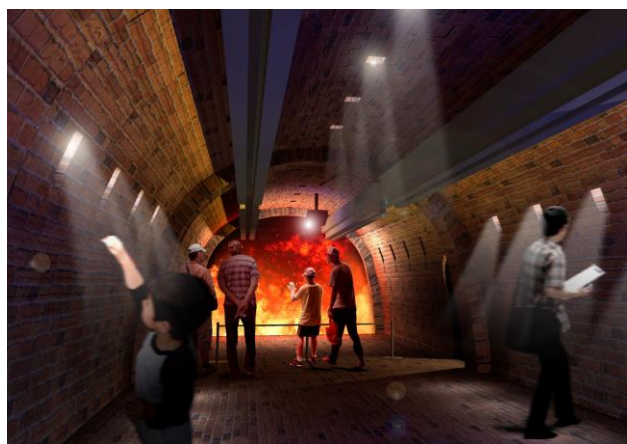
ホフマン輪窯の保存修理工事は完成しましたが、適切に管理活用するためには、周辺整備が必要となります。令和7年度以降、輪窯外周に設けた鉄骨補強に外壁を設置し、グラフィックなどを用い

て輪窯内を見学できるよう整備します。

また、隣接して管理活用のための施設を建設します。施設内には受付やシアター、厨房などを設け、輪窯の一部は飲食スペースとして輪窯の魅力を伝えたいと考えています。



輪窯と管理活用棟の鳥瞰イメージ



輪窯内展示のイメージ



輪窯内飲食エリアのイメージ

編集：埼玉県深谷市教育委員会文化振興課
発行：2025年（令和7年）7月 1日

